



高岡西部小だより

令和7年10月21日 発行 No.7

高岡市立高岡西部小学校



高西小 HP

★街の魅力”を再発見！ 深まる子供たちの地域学習

総合的な学習の時間や生活科の学習では、地域の皆さんをお招きし、子供たちの学びをさらに深めるためのお話をいただいています。

先日は、川原校区の千保川ほとりにたたずむ景観や、川原の歴史・地域の魅力について、吉川さんからお話を伺いました。「恵比寿塔」は大漁をもたらす神様・恵比須様にちなんで名付けられ、地域の歴史遺産として大切に受け継がれてきたことなど、千保川と人々の暮らしのつながりを詳しく教えていただきました。

また、金屋町にも足を運びました。石畳が続く風情ある小道を歩く中で、金屋町「ポケットパーク」付近でウランガラス製のハート型を見付け、大興奮の子供たち。ハートを考案した串田さん方々の「優しさがあふれる金屋町の散策を楽しんでほしい」という思いを、しっかりと感じ取っていました。散策の途中には地域の皆様が声をかけてくださり、「さまのこハウス」についても分かりやすく説明していただきました。歩くだけで楽しい街で、人との温かい出会いが重なり、関わりと学びがさらに広がっていきました。

低学年は町探検の真っ最中です。お蕎麦屋、かば焼き屋、お菓子屋、お花屋、味噌屋、西部児童センターや地域交流センター等、身近な地域に素敵な人がたくさんおられ、魅力あふれる街であることを実感しています。

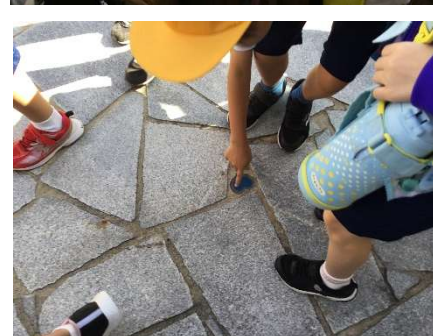
このように、実際に歩き、人と出会い、お話を聞き、その方の思いに触れることで、自分たちの住む街のよさを改めて感じています。統合した3校区の広い地域それぞれの魅力を肌で感じ取りながら、子供たちは学びを深めています。

地域の皆様、子供たちを温かく受け入れ、分かりやすくお話して下さり、ご協力いただいていることに心より感謝申し上げます。

★越中万葉かるた練習 始まっています！



今年も、いよいよ「越中万葉かるた」の練習が始まりました。高岡市にゆかりのある大伴家持が詠んだ歌を中心につくられた越中万葉かるたです。短時間での練習を積み重ねる中で、少しずつ上達していく子供たちの姿は、たいへん頼もしく感じられます。多くの小中学生が参加し、熱戦がくり広げられます。大会は自由参加となっています。興味のある人は、ぜひ挑戦してみてください。



高岡市越中万葉かるた大会 令和8年1月18日(日) 高岡市ふくおか総合文化センター(Uホール)にて

★高岡西部中学校と共に進める授業づくり！



校内の授業研修会では、高岡西部中学校の先生方にも参加いただき、小中合同で研修を行っています。子供たちの学びを、小学校から中学校までの9年間を見通して系統的に捉えることを大切にしています。

授業を互いに参観し、意見を出し合うことで、より質の高い授業づくりをめざして日々研鑽を積んでいます。

令和9年度には、校舎併設型の小中一貫校となる予定です。それに向けて、児童生徒の交流はもちろんのこと、教職員同士の連携・交流も今から積極的に進めていきます。

★農家の方と触れ合い、食べ物への感謝を学ぶ体験授業

「セクシーな形の大根（二股に分かれた大根）はどうするのですか？」「野菜をつくるときに一番苦労するのはどんなことですか？」子供たちは身を乗り出しながら、農家の方に次々と質問をしていました。

高岡市農業水産課と連携し、日頃給食で使われている食材を生産してくださっている農家の皆様をお招きしました。実際に野菜を見て、手に取り、その新鮮さや、育ててくださる方々の熱い思いに触れた子供たちは、とても生き生きとした表情を見せていました。大根やホウレンソウが、木津・下関・二塚校区等、身近な地域から届けられていることにも驚いた様子でした。

この日の給食「野菜たっぷりグリーンラーメン」には、農家の皆様が丹精込めて育ててくださった野菜が勢ぞろい。子供たちはより一層感謝の気持ちを持ち、残食はもちろんゼロでした。人との直接的な出会いが子供たちの心を揺さぶり、食べ物への感謝の気持ちや食に対する興味をさらに深めてくれた、すばら



★学校前での車の駐停車についてのお願い

しい学びの時間となりました。

寒さが厳しくなる季節となりました。車で送迎される際、学校前に駐停車される方がおられ、大変危険であるとの声が、地域の皆様や教職員からも寄せられています。特に学校前はカーブになっており、後方の車との接触や、降車した子供の飛び出しが想定されるため、非常に危険です。

また、正門や学校横の空き地への車の乗り入れも、登下校中の子供たちの安全確保の観点からご遠慮いただきますようお願いいたします。送迎には、旧西条小学校のグラウンドをご利用ください。

なお、道路の斜め横断も大変危険です。子供たちは日ごろから大人の行動を見ています。保護者の皆様におかれましても、安全な行動の手本となっただけければ幸いです。ご不便をおかけしますが、子供たちの安全のため、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。